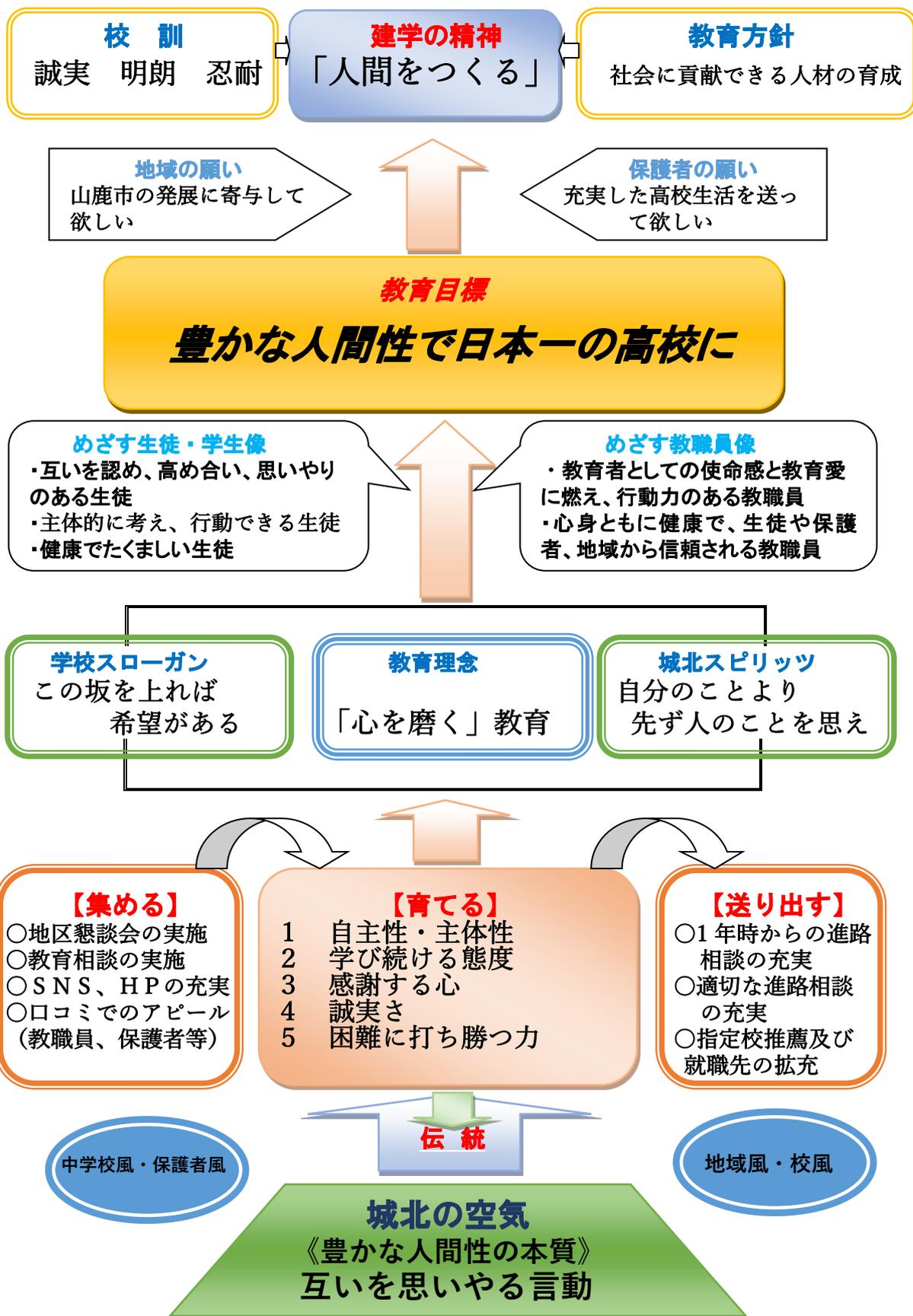


令和5年度 学校評価

- 1 学校教育目標
- 2 本年度の教育重点目標
- 3 自己評価総括表
- 4 生徒による評価総括表
- 5 保護者による評価総括表
- 6 学校関係者評価
- 7 総合評価

城北高等学校

名門 城北高校の教育目標



3 自己評価総括表 評価基準(4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分)

評価項目		具体的目標(評価の観点)	自己評価	成果と課題、	R 4
大項目	小項目				
学校経営	建学の精神に則った教育目標の実践	建学の精神「人間をつくる」に則った教育活動の実践ができています。心を磨き育てる教育の実践、豊かな人間性を育む教育活動の実践ができています。	3.1	○学科コースごとの地域活性化の取り組みについてFFコースは組織的、計画的に動けるよう企画を練る必要がある。○生徒会や各学科コースの生徒主体型の取り組みである「地域活性化プロジェクト～Jミッション～」の発表会の成功。衛生委員会が動き出し、危険個所の改善や1号館のウォシュレット化や新体育館前の地面コンクリートの凹凸も治っている。電気のつかない所や放送が入らない所のチェック等も必要である。ホームページはインスタも取り込んだが肖像権の確認等でUP数が減った。学校新聞はよく発行できている。チアダンス部や医療福祉科の介護技術日本一も良かった。○「人間をつくる」という建学の精神は意識している。各学科コースの特色を生かした地域貢献活動は学園祭、オープンキャンパス、教育実践発表会、Jミッション発表会等で内外に伝えることができた。地域からの評価は高いと思う。○地域から信頼されていると感じる。○各学科コースの特色ある取り組みができています。(Jミッションなど)外への発信を更に効果的に行って生徒募集につなげたい。○インスタにあまり情報を上げることができなかったため、次年度は気をつけたい。○4月の校長先生の名門城北高校を意識し研修に参加したり情報発信に努めた。地域や在校生一人ひとりが名門を意識できているかはわからずおおむね達成とする。○一人ひとりに声掛けなどでできており生徒達も素直に育ってきていると感じる。各学科の特色は出ていると思うがその取り組み年間をとおしての一貫性のある活動は学科、担任に大きな差があると毎年感じている。卒業生の活躍など学校新聞、HPなどでもっと発信しても良いと思う。共有スペースの机、椅子などの老朽化がひどい。○インスタをより良く更新していきたい。	3.1
	特色ある学校(学科、コース)づくり	学科・コースの特色が明確であり、その特色や実績を高める教育活動が実践できている。	3.1		3
	地域からの信頼と、開かれた学校づくり	各学科コースの特色を生かした地域貢献活動等が充実しており、地域やPTA、各種団体との連携を図った地域活動、ボランティア等の積極的活動ができています。また、生徒の活動、頑張り、実績をホームページや学校新聞、広報誌等で情報発信できている。	3.1		3.1
	教育環境の整備	施設や設備の充実・改善や、危険個所等の早期発見、早期対応ができています。	2.6		2.9
学力向上	力をつける授業の実践	研修や授業研究等で教師間における指導力の向上を図るとともに、常に教材研究や学習指導方法の工夫・改善を施し、授業力向上が図れており、効果ある授業が実施できている。	2.7	○教科会の中でFFコースの教科書をもう少し難しくしてはどうかという意見が出た。入試に対応するために検討する必要がある。○3観点評価に伴い教育活動や主体的な生徒の取り組みの工夫を行っているが現実として難しい面もある。そしてそれを評価するのに時間がかかる。全体的に終業式などで進路・生徒指導からはあるが学習指導についても必要ではないか。基礎学力を高め学習習慣を身につけさせる必要がある。○授業以外の時間に学習をする習慣をつけるために漢字の小テストや読みのテストを行う等工夫した結果、努力する生徒が増えた。欠席者が目立つクラスで効果の得られにくさを感じている。教材研究には力を入れている。○先生方が工夫されていると感じる。○研修や授業研究はほとんどできていない。教師自身が自らの指導力向上に努めようとする意識を持つべきだしそれを支える経済的支援が必要。○ワークシートを作成し要点を整理しやすいように行った。Googleフォームで問題をつくり、繰り返し問題を解けるように行った。○90分間学生が集中し学習できるようまた探究心を刺激できるよう授業探究計画に努めた。○今年度は教材研究に力を入れることができた。ICTを利用し生徒達の関心を高め記憶に残る授業を心掛けた。調査時の平均点も上昇した。学んだことを生活の中で生かすこと周りを観察し思いやる感性も授業の中でふれることができた。調査前は個別に呼んでノートチェック対策を行った。もう少し徹底したい。○授業時数確保が難しい。教員の確保ができれば生徒の状況にあった関りができるのではないか。○体力の2極化に応じて実践していきたい。	2.6
	教育課程と時数の確保	3年間を見据えた指導計画のもと授業の展開ができています。各学科コースの特色を生かした教育課程の中で、生徒の学力向上を目指した授業実践と時数の確保ができています。	2.6		2.6
	学習習慣と基礎学力の定着	学習習慣の確立へ向けた家庭学習の習慣化を図るための工夫や、生徒の状況を把握した適切な課題学習提供や個々の生徒の習熟状況の把握ができており、成果ができています。	2.4		2.4

生徒指導	自律心と自尊感情の育成	生徒自ら考え行動し、互いを認め合う教育の実践、黙想や論語教育等、心を育む情操教育ができています。また、生徒への適切な言葉かけや対応で信頼関係の構築ができています。	3	○私自身クラス運営でやや不十分なところがあったと反省している。卒業までしっかりと育てて送り出したいと思う。○挨拶をしない生徒も増えてきている。言われて挨拶したりポケットに手を入れたまま挨拶をする生徒もいる。明るく優しく元気な学校の校風を大切に相手を思いやるいじめのない学校を目指して指導する必要がある。○担任は黙想を行わないが、私がSHRを行う時には必ず黙想、論語、挨拶という順で取り組んだ。校則を守ることは厳しい姿勢で臨んだ。反抗する生徒はいないが校則を軽く見ている生徒はいるようだ。学習に集中して取り組むクラスにするためには休み時間の生徒の過ごし方にも目を向け落ち着いた雰囲気づくりを行わなければならないと思う。○一人ひとりにあった対応に苦心されている。○生徒指導部の先生だけに頼らず、全職員の足並みのそろった指導が重要。個人の価値観は様々あっても決まったことはきちんと指導する。生徒は人を見ます。○挨拶、身だしなみ、時間管理など社会性を身につけられるよう意識し対応した。いじめ等早期発見、予防のため状況把握、情報共有に務めた。○生徒指導の対象となる生徒が多い1年だったと感じる。日頃のことは使いや気持ちの良い挨拶などがとても大切だと感じている。服装指導などは教員によって差がある。特に女子の化粧などは見逃されている。職員間の情報交換、連携が必要。○黙想と論語で落ち着いた生活を送れている。	2.8
	基本的な生活習慣の確立	挨拶・時間の厳守、服装指導等の徹底や生徒自らが規範意識をもち生活していく指導ができています。また、学年・学科・校務分掌等における職員間の連携や指導の徹底ができています。	2.9		2.6
	明るく楽しい学校づくり	問題行動やいじめのない明るく楽しい学校を目指す指導ができています。また、問題の早期発見と素早い対応や、特にいじめ問題についてはアンケート調査等を含め生徒の様子や実態を早期に発見・把握した対応ができています。	2.9		2.9
	交通指導の強化	交通マナーの向上と交通ルールの遵守を図り、交通事故、違反をなくす交通安全教育ができています。また、自転車、二輪車通学生については特に登下校時等の安全教育の徹底ができています。	2.6		2.8
進路指導	進路目標設定、進路情報提供	進路に関する指導と支援が計画的にできています。各学年次に進路についての生徒の意識を高め、決定へ向けての学習意欲向上や計画的学習につなげることができています。	2.9	○3年生は進路活動をとおして本当に成長したと思う。クラスごとに指導にばらつきがあるのは課題。○各学科コースの特色に応じた進路指導が出ていると思う。周りの先生方を見ても個別指導がとても良くなされていると感じている。私も時間の許す限り面接指導、小論文指導を丁寧に行うよう努め、実践できた。○課外など精力的に頑張っている。○もっと細やかにクラスで二者面談や進路情報を提供していきたい。○卒業後の進路保障はおおむねできていると思う。しかし能力以上の専門学校に入学し中途退学などの生徒もいるので適性を見極める必要があると思う。学習意欲向上、入試に向けてのモチベーション向上が課題だと思う。	2.9
	目標達成へ向け徹底した進学指導	目標達成へ向けての具体的計画の確立と実践、指導が図れている。進路希望調査及び模擬試験の結果の早期分析による適切かつ計画的な指導ができています。	2.8		2.8
	目標達成へ向け徹底した就職指導	目標達成へ向けての具体的計画の確立と実践、指導が図れている。進路希望調査及び職業適性等の早期分析による適切かつ計画的な指導ができています。	2.9		2.8
人権教育の推進	職員の人権意識の高揚	校内外の研修会等の参加や日常の教育活動の中で人権意識の向上と教育実践が図れている。また、生徒・保護者対応、教科・クラス指導等の中で、豊かな人権意識を持ち活動ができています。	2.8	○生徒達の人権意識の向上についてはもう少し必要性を感じる。全体の職員研修ももう少し必要。○授業中の言葉かけはできるだけ丁寧に行うよう心掛けている。日常的な他人を思いやる言動の指導が必要だと感じている。○研修の紹介等をよくされている。	3
	生徒の人権意識の高揚	人権教育を日常の教育の柱に据えた教育実践ができており、豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を図ることができています。また、学校行事、学年、クラスにおいて計画的に人権教育の実施ができています。	2.7		2.9
特別活動	適切な学校行事の実施と充実	生徒が意欲的かつ自主的に学校行事に参加し、他と協力し合う協調性の育成を図る指導ができています。また、学校行事は個々の生徒の成長への効果的な機会となっている。	3.2	○学校行事をとおしての生徒の成長は本当によくわかる。(Jミッションの学習委員長など)スポーツ奨学生についてはもう少し人間性を高める必要があると感じる。○コロナ禍の中で本格的に取り組めなかった生徒会行事やイベントも復活し初めての経験の生徒会役員も多かったが、一つ一つ確認しながら仕事を進める姿に感動した。部活動はどうにかこうにか本番までつなげることができた。○体育大会、学園祭が通常開催となり活気が戻り生徒が生き生きしていた。生徒会は頑張っている。Jミッション発表会の司会、来賓紹介の指導をしたが取り組む姿勢がとても良かった。部活動で大きな成果が見られ生徒募集につながったと感じている。○生徒の力のすごさを感じている。○生徒会の生徒が服装に利かせ授業中の見聞し	2.9
	生徒会活動と委員会活動の活性化	生徒自らが主体となり活動する生徒会、委員会活動となっている。生徒会・委員会の運営、役割について明確化されており、生徒自らが主体的かつ計画的に活動するよう組織となっている。	2.9		2.9

部活動の活性化	スポーツ・文化部活動の活性化と向上が図れている。また、部活動をとおして、人間形成や協調性、規範意識の向上へと繋がっている。	2.8	○生徒会の生徒が服装に似ている授業中の居眠り等があり生徒会の自覚が足りないと思う。(注意しても態度が好ましくない)○行動内容の指示を控えるように心がけた。今後も具体的な内容は考えさせたい。	2.6
---------	---	-----	--	-----

評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価	成果と課題	
大項目	小項目				
各部及び専攻科	総務部	生徒募集へと繋げるオープンキャンパス・教育実践入試説明会・中学校訪問・各説明会を充実させる学校案内、ポスター、募集要項、ホームページ等適切かつ効果的に作成・発信ができています。本校教育・生徒の活躍等の発信ができています。	3.3	○コロナ化でなくなりPTA活動が以前のように可能になってきた。オープンキャンパスについては本校生徒の活躍や頑張りがすばらしかった。入試については前年度の改善点が活かされ願書等徐々に書きやすくなってきていると思う。○中学校訪問や中学校での高校説明会、ホテル日航での合同説明会、4校合同説明会、2回のオープンキャンパス、スポ科の体験入部、今年度中学校と塾とを別々に開催した教育実践・入試説明会。新たにアフタースクール個別相談会も行った。どれも職員一人一人が積極的に参加協力頂き無事に終了することができた。足で稼ぐ広報活動や中学校との連携、生徒の姿で勝負する教育活動の成果が大きく出た年ともいえる。特に4月に校長先生になられた竹下校長先生はたくさんの塾を訪問され情報収集やこうほうされ新たな様々なアイデアを出された。美化活動やSDGsも環境美化委員と連携し展開された。○オープンキャンパス、説明会等本校の魅力や生徒の素晴らしい取り組みを伝えることができています。全員で行う中学校訪問も定着してきた。入試説明会後のダイジェスト版の作成とお礼状の送付は素早くできた。入試問題作成から合格発表まで全職員で行われている。広報活動は今後も地道に行っていく必要がある。心の掃除は意識が上がってきていると感じる。○生徒募集の資料作りには頭が下がる思いである。○中学校訪問、費用対効果を考えたととき、少し絞ってもいいように思う。相手にされず、冷たい対応をされる中学校もある。離島同様に郵送で良いのではないかと。コロナ化で制限されていた同窓会活動の活性化に期待しています。愛校作業の少なさには驚かされる。○生徒、学生の頑張りや名門城北を目指す強みのアピールを積極的に図った。方法としては対面時は学校パンフレットを活用しInstagramの周知に努めた。入試の流れに(私自身)無知なことが多く活動の参加も不十分で、PTA同窓会についても同様であった。担当の先生に積極的にたずね活動する必要があった。○オープンキャンパス、中学校訪問に可能な限り専攻科としても参加できた。今後は高校過程との連携を図り生徒募集につなげていきたい。本校のPR活動を地域で実践できるようにしていきたい。○中学校訪問の持参資料の写真が対応に困られた。	3.1
	総務部	入試問題作成、入学願書配布、入学試験、合格発表までの流れが的確かつ計画的に実施できている。	3.1		3.1
	総務部	PTAの繋がり、活動の活性化が図れている。	2.5		2.7
	総務部	同窓会活動の活性化が図れている。	2.2		2.1
	総務部	効果的な環境美化の実施、具体的な環境美化計画、心の掃除の実施により、効果的かつ情操教育へと繋げることができている。	2.9		3
各部及び専攻科	教務部	学力保障のための授業時数の確保と効果的な時間割作成、自習時間の減少を図ることができている。	2.6	○教科会の中で習熟度別の授業が話題になった。教科の特性上中学の時に基礎が出来ている生徒とそうでない生徒を一度に授業をすると習熟度が高い生徒を伸ばすことができないという不安が募る。しかし、習熟度別にすると教員の数の問題が生じる。○特別時間割の多さに戸惑うが本当によく対応されている。○新教育課程が完全実施になる令和6年度を見据えて見直しや共通理解が必要な事柄について早めに検討する必要がある。評価の仕方、奨学生の昇格・降格基準など。評価では3観点の配分は教科任せで良いのか。また、非常勤の先生方とも年度初めに共通理解を図ることも必要だと思う。○総会資料はPDFで配布したり希望者のみにしても良いと思います。(幼、小ではペーパーレスになりました。希望者のみペーパー配布というお知らせがあります。)○学校行事の精選を是非お願いできればと思う。○特色のある授業をされている先生もあり勉強になる。その一方で自習の多い先生、遅れていく先生、読書をさせるだけの先生ととても差がある。授業命を徹底することが大切なのでは。○自習なる時の自習課題を具体的に指示したい。	2.8
教務部	目的を明確化し、効果的かつ充実した学校行事の実施ができています。	3		2.8	
教務部	効果的な授業実践のための教材研究と授業の工夫、生徒の学習意欲を喚起する授業が実施できている。	2.7		2.9	
教務部	研究授業等を実践し、指導方法の工夫改善を図る教科担当者間における連携で授業の改善、評価の充実を図ることができている。	2.1		2.5	
教務部	授業や指導を振り返り、工夫改善ができています。	2.6		2.4	

			時の日自課題を具体的に担当したい。	
教務部	職員の指導力向上、意識の向上を図る校内外における効果的な研修ができています。	2.4		2.3
	多種多様化する奨学金制度への的確な対応と利用実施生徒、保護者のニーズに合った的確な奨学金制度の案内、手続き、活用ができています。	2.9		2.9
生徒指導部	基本的生活習慣の確立を目指した、挨拶、服装指導や欠席、遅刻、早退生徒への対応・指導の徹底ができています。	3	○生徒指導部には様々な問題に対応して頂いた。スマホ等もあり問題が複雑化する中的に動いていたと思う。○問題を抱える生徒が多くその深刻さも増して他機関の協力や別の施設へのお願いなどの時期に来ているように感じる。○吉岡部長をはじめ生徒指導部の先生方の日々の丁寧な取り組みには頭が下がります。地道な取り組みの成果として今の本校の落ち着いた生徒、地域の信頼が得られていると思います。今後も「全職員で」頑張りましょう。	2.8
	自主性と規範意識の構築を図るための、校則や社会的マナー・ルールを遵守することの大切さや、そのための効果的な指導の実施ができています。	2.9		2.8
	規範意識向上と自主性・意識向上につながる特別指導の実施ができています。	2.9		2.8
	いじめのない、生命を尊重し安全で健康な心身の確立を図る城北スピリッツの精神で、人間の生命の尊厳と互いの人格を認め合う心を育てる指導ができています。	3		2.8
人権教育部	豊かな人権感覚を身につける生徒を育てるため、学校全体・学年・クラス等において計画的かつ効果的な人権教育の実施ができています。	2.4	○講師の先生に来て頂き、私たちがもっと学習する場が必要。○校内の人権学習、職員の研修が無い。	2.8
	職員の人権意識の高揚を図る校内外研修等の計画的な実施や参加ができています。	2.8		3
教育支援部	個々の生徒の実態に応じた支援体制の確立と支援特別支援における情報の共有を図り、支援体制を確立し、教育活動全体を通しての支援	3.1	○毎週火曜日に設けた生徒を見つめる日はしっかりと活用していけたらと思う。○きめ細やかな指導が良い。○ADHD、ASDと言った診断名がわかかっていても一人ひとりの特性を把握するにはとても時間と細やかな対応が必要だと感じた。○早期発見、早期対応が必要なので授業の様子(読み書きが苦手、数学がわからない、多動、集中していない等)の情報共有が必要。生徒の全体像を把握して関わっていく事が大事。生徒はクールダウンしたり話を聞いてもらって安心して教室に戻れている。○対応が難しい生徒一人ひとりに対して支援されており生徒の居場所ができています。	2.9
	生徒支援における教職員の連携と効果的な組織体制づくり教職員への研修、情報の共有等におけるのバックアップ体制と組織の確立	2.8		2.7
保健体育部	体育的活動の充実体育大会、クラスマッチ、体力錬成行事等体育的行事の充実を図れている。	3	○体力錬成行事については再スタートしてもいいのではと思う。○クラスマッチでの怪我、感染症に気をつけたい。	2.7
	保健衛生面の充実、生命尊重を基盤とした、安全で健康な心身の確立と心身の健康に問題を有する生徒への対応の充実を図ることができています。	2.9		2.8
生徒会	生徒会の役割、運営等を把握整理し、主体的かつ効果的な生徒会活動ができています。	3	○生徒会の活動は本当によく頑張っていた。コロナが収まり久しぶりの学校行事だったが頑張っていた。○よく頑張っていると思う。○生徒会の在り方には改善が必要。生徒の学校に対する要望の場になっている。また議長	3.2
			の訓練・指導が必要。	

各部 及び 専攻 科		生徒会執行部の組織としての連携と各委員会との連携の強化を図り、全体の活性化を図ることができている。	2.9		3
	看護専攻科	看護専攻科教育を通して地域社会に貢献し得る豊かな人間性・創造性を兼ね備えた看護師を育成するため、専門課程としての教育活動の充実ができている。	2.9	○専門職業人としての必要な知識、接遇を含め日々のメッセージ、対応に努める。低学力の学生だけでなく全員の学力意欲向上に向けた計画・対応に努め、全員合格達成を目指す。○国家試験対策は見直しを図り早期に実践できた。今後地域社会に貢献できるよう山鹿市民との連携の充実が図れるシステム化していきたい。	3.2
		国家試験合格へ向け、計画的、合理的な学習計画・実施ができている。	3.1		3.1
	事務部	経理・庶務・会計等明確化を図り、正確かつ適正な事務処理ができている。	3.1	○スクールバスの一部外部委託することでどのように変化したかを報告して頂きたい。また、利用者の声はどうなのかも。バスの購入や値上げについても..。食堂がオレンジ食堂に変わってどのような変化が見られたかを聞きたい。○食堂の先生は一生懸命されていると思う。設備や建物が今に会わず苦勞されているのでは。○スクールバスの運転が荒いという声を複数の生徒から聞きました。登校時間に間に合わせようと努力されていると思いますが、安全第一でお願いします。○スクールバスの委託により今までのサービスを受けることが難しくなった。(やむを得ないと思う)1日2便しか出すことができない点を含めサービス低下する部分があれば早めに教えてほしい。	2.9
		安心安全な食堂運営安心安全かつバランスのとれた食事の提供ができている。	2.8		2.9
		計画的な車両の整備点検を行い、安心安全な管理体制の確立を図り、的確かつ合理的なスクールバスの運行を行うことができている。	3		2.9
		寮運営において、寮生の実態把握を的確に行い(点呼体制、寮生活における規律体制の確立等)、安心・安全な生活を送ることができている。	2.9		2.9
	進路指導部	進路実現に向けた啓発活動、指導体制の確立が図れており、生徒の進路希望や学力等の的確な把握や指導、計画的、体系的な指導ができている。	2.9	○小論文指導については私が担当しているクラスでは1年生の3学期から行っている。3年生になってからは困難な生徒がいるため早期からの取り組みを感じたからだ。面接指導については練習する場所を確保することが難しく放課後の教室を何とか使うことができたときもあった。○3年特進全員に大学入試共通テストを受けさせる必要があるのでしょうか。すでに進路を決定している生徒、共通テストが必要でない生徒にまで受けさせる必要はないと思っています。受験料も決して安くはありません。	3.1
		進学指導において、計画的かつ効果的な学習指導、小論文指導、面接指導等ができている。	2.9		2.9
		就職指導において、計画的かつ効果的な学習指導、面接指導等やキャリアプランニング活動の充実ができている。	3		2.8
		個々の生徒に応じた進路実現を図るための計画的、体系的な体制や指導の徹底が図れている。	2.9		2.8
		行事名	意見、感想等(成果と課題・アイデア等)		

<p>体育大会</p>	<p>○丸1週間教科の授業がありませんでした。午前中程度授業して午後練習でもできるような気がします。○生徒主体と感じて良い面もあるが教員含めて学校一体となって取り組んでも良いのではないかと感じた。○毎回本番が一番素晴らしい力を発揮する生徒に感動します。女子のダンスや男子のパフォーマンスは生徒会に頼りすぎているように思います。生徒会の負担が多すぎると感じます。○短期間の準備・練習時間ではあったが、3年生の団長や生徒会を中心にまとまり充実感の残る体育大会となった。保護者の参観も多かった。中学校招待リレーが今後この日程であれば参加が難しいのでは。○通常開催となり多くの保護者の来校があり活気にあふれていた。生徒の生き生きしている姿がみられた。今年度は開催時期の転校が不安定で屋外行事の難しさを実感した。○簡素化の中にスポ科の力を交ぜてなるほどという校風を築き上げないといけない。○熱中症対策をもっとやったほうが良いのでは。○1日開催の必要性を疑う。小学、中学と半日開催で高校で急に1日開催となり生徒の体力の負担が懸念される。小中とも1日練習は予行1日のみでこの氣候状況で練習日程は見直すべき。○久しぶりの終日の大会、良かったです。○練習時間が多い。半日練習などするならばその時数を専門教科に戻して欲しい。○1週間まるまる授業がなかったのには驚いた。団練習などだらだらと過ごしている時間が見られた。授業時数の確保も大切ではないだろうか。○熱中症予防で氷や保冷剤を求める生徒が多く、保冷剤が足りなくなったのも一つあると思います。(娘の小学校では保冷材の寄付を集めていました)○合同練習を減らして欲しい。短い期間での練習でしたが生徒達も各団で団結し良い体育大会になったと思う。スポ科のパフォーマンスは全学年が知らない中で作り上げたので苦勞した部分もあるが部活動ごとに分けた行ったのが良かった。○練習時間を短くして良いと思う。全職員で関わって熱中症・安全対策を行い盛り上げていきたい。○生徒の体育祭にける熱意、意気込みは強く、達成感はとても大きいと考える。集団での活動をととして人間関係の構築にも役立っている。○体育の時間を使って早目に練習して欲しい。</p>
<p>オープンキャンパス</p>	<p>○とても充実したものであった。○たくさんの部活動生や各学科コース代表生徒、生徒会の活躍があって成り立っています。感謝です。先生方にも無理のある実施計画の中でよくやって頂きました。○体育館でのオープニングセレモニー以外はコロナ以前の形に戻ったOC。久しぶりのフル稼働に戸惑いや準備不足やハプニングもあったが、生徒の姿で勝負し3回以上感動させることができたと思う。2回のOCで目標値を達成できたことは最大の喜びであった。情熱カレーの配膳等もやり方を変えてみた。厚さは大変こたえました。○全職員で協力し合うことができたと思う。各学科コースの特色を中学生、保護者、先生方に伝えることができた。内容も十分に工夫されていた。○1回目(全体)で集約。2回目は無くして、9月以降個別相談会(3回程度)でいけば。○通常の日を開放して夕方の部活などもフリーで見てもらえる日でもいいのでは。○短い時間で濃厚なプログラムとなっております。出来れば1日開催がのぞましい。○とても良かったです。2回目のOCの次日は休日にするよう検討して下さい。○参加者から本校教育に対し、共感の声が多く寄せられており良かった。○短時間でとても濃い内容だと思いました。○来校する生徒・保護者の方が是非入学を！と思って頂けるよう本校の魅力を精一杯PRした。先輩先生方の対応や学校の空気雰囲気から更に城北愛を深めPRしていきたいと感じた。対応した生徒・保護者が2回のオープンキャンパスに参加して下さったことは素直にうれしかった。○他校と比較するととても評判が良い。○来校して頂いた生徒保護者の方々に満足して頂いたように思う。今回は駐車場がオムロンが利用できたので対応できた部分もあるが雨天になったときの対策が必要。○熱中症対策しっかりとる必要がある。授業は各コース工夫されている。○受験生増。このまま継続を。</p>
<p>中学校訪問</p>	<p>○3度の訪問は日程的にも2度にできないものかと感じる。○全職員で訪問するスタイルが良いと思います。全員で生徒募集です。○中学校訪問を実施するにあたって先方のことも考えて事前にアポを取って頂いた方が良いと思う。○全職員で回る形で実施。1回目は研修等で不在が多く曜日を変更して2回目を実施したがやはり不在も多い。3回目のコーヒーとチョコのセットは頑なに拒否された。○全職員での訪問は定着してきたと感じる。訪問した中学校からオープンキャンパスや入試説明会への参加がありやがいを感している。○つながりは重要だし、面倒見の評価は上がってきているので丁寧な訪問は継続すべき。○授業カットがいたい。○今回は3回の訪問で顔は覚えてもらったが、昨年同様2回でいいのではないだろうか。○全校訪問も意義あることだと思うがコストパフォーマンスを考えると訪問する学校を絞りこんでもいいのではないかと感じる。○初めての参加でしたが、二人で回らせて頂いたのが勉強になりました。○資料等の準備になかなか参加できなかったのが反省課題である。事前にたくさんの有力な情報を整理して下さっていたため訪問時にスムーズに対応ができた。○学校によってはあまり細かく対応できないところがあり、申し訳なく思う場面があった。○3回同じ学校を訪問したことで先生方とコミュニケーションがとれ良好な関係を築くことができた。○学校行事等で進路担当の先生が不在や対応できないことが多々あるので事前にアポを取って行くのが良いと思った。○本校の取り組みを伝えることで入学者増につながっている。継続を。○今年度のスタイルがベター。</p>
<p>学校行事等について 入試説明会(中学校・塾・個別相談会等)</p>	<p>○とても充実したものであった。○今年初めてアフタースクール相談会を実施しましたが中学生や保護者にニーズがあったと思います。○今年度は中学校対象と塾対象を分けて実施。塾対象は午前中開催を望まれる声もあった。近隣の校長先生の参加が少なかった。生徒の教育実践や調理科のケーキセットは好評であった。アフタースクール相談会を新たに実施し、長時間熱心に話を聞かれた。○中学校と塾を別日に行ったのはよかったと思う。丁寧なおもてなしができて満足された様子がアンケートから伝わってきた。OCM活動は必要なので教員の負担をできるだけ減らしながらと思う。○入試説明会は集団講義室で行われよかったと思う。できれば塾の先生方も同日で出来ればよかったと思う。○全ての先生に診て頂きたいです。○学科説明より生きた授業を見学して頂いた方がリアル感があると思う。○初めての参加で不安もあったが先生方に助言を頂きながら精一杯活動した。○準備をする側としては大変であるが良い宣伝にはなると思う。特に個別相談会などは今後増えてくると思う。○より理解して頂ける機会になっている。</p>

<p>学園祭</p>	<p>○コンパクトな日程(1日減らす)で良いのではないかと。間延びしている印象があった。○昼休みの時間が長いのは良かった。○現在2日間の日程で実施されていますが1日でもいいのではと思う。他校も1日実施も多いようです。○3年生にとってはとても思い出に残る充実した行事になっていると思う。○コロナ化を過ぎ、本格的に復活した学園祭であったが忙しかつという間に本番が来たという感じであった。クラス展示もお化け屋敷や体験型の部屋が多かった。盛り上がりは良かったがそれだけでは…という感じがした。芸術鑑賞では卒業生のライブで生徒参加型で面白かった。もう少し歌ってもらいたかった。保護者の来場者数も多く、当日券に並んでいた。○通常開催となり活気があった。調理科生徒はステージ発表など楽しめなかった生徒が多かったのではと気になった。○1日開催にして中身の濃い時間をつくること。城北の学祭はこれだという骨格を考察していく時期では。○準備時間少なく大変だった。○とても良かった。学園祭単体の実施で生徒達が本当に生き生きと楽しそうに自分たちが楽しむための行事の大切さを実感した。○すばらしい計画生徒達も思い出ができて感謝です。○時間設定の在り方、企画内容についてもっと検討が必要だと思う。○1日で良いと思う。○2日間行う必要があるのだろうか。内容を精選して1日で済ませることを検討してはどうか。○今年は2日目のスケジュールの変更が急にあり、飲食を提供するのでもバタバタしました。保護者の方も変更を知らない方がいてチケットを無駄にするところだったので、帰りのSBの時間も含めて変更が当日に無いようになればと思う。○学科発表とJミッション発表会は1回で良いのでは。○2日間の実施だったので1日目に回れていないところも回れたという生徒からの声も聞けたのでよかったと思う。○高校生にとって最大の祭りであり青春そのもの。人間関係や協調性メンタルを育てるために必要。○Jミッションを分けたことでより学園祭らしくなってきた。○忙しかった。時間確保が難しいことが多かった。当日も他学科や他クラス学年クラスの企画に行けない生徒がいた。○文化の日は中学生や高校生も来校しているのではないかと。</p>
<p>Jミッション発表会</p>	<p>○Jミッションの目的を年度当初から定めておくことに良いものになると思う。○福祉科の発表がとてすばらしかったので次年度はそのレベルまで全学科が高められたらと思います。○各科の取り組みを共有する良い機会であった。○学習委員が主体となりすばらしい発表活動でした。○自分たちの取り組みをまとめ評価し披露する機会として必要な行事だと思います。○学習委員会や生徒会、各学科コースの生徒達の頑張りが良い発表に繋がっていた。また、来賓の子田方も一生懸命ご覧頂きコメントも身に染むものがあった。報道や山鹿市等の取材があっても良い内容であった。全校生徒自分たちの活動という自覚ももっと欲しい。○司会と来賓紹介の指導を行ったが、練習の時から取り組む姿勢が良く本番も臨機応変に行えており感心した。発表の内容も素晴らしく、地域に貢献する活動が行えていることを実感した。○確実な生徒の成長に繋がる取り組みなので進化する。質をさらに向上させていく事。○12月開催は寒さが課題であると思う。学園祭後の11月くらいが良いと思う。○生徒の様子も良く良い発表会でした。プレゼン力がついています。○学習委員長松本さんがとてすばらしかった。○私的には3年間の学びの継続がなく切れてしまったのを反省しているが、生徒の発表には新たな発見があった。○それぞれの学科コースの特色のある取り組みがなされていることをアピールする良い機会であったと思います。時期をどうにかできないだろうか。極寒の体育館、コロナ、インフルエンザなど。○来賓もたくさんいらっやって各科の発表も良かった。未来へと繋がる内容、取り組みめるのはすごいと思う。○それぞれの学科コースの取り組みが聞いて良い機会でした。生徒達が発表することで伝える力や学びが深まっていくように感じた。生徒達も興味を持っていたのでよかったです。○発表者も聞いている生徒もとても良かった。日頃の活動をいかに計画的に行っているかがとても大事になってくると思う。地域に貢献する豊かな発想郷土を知り愛する心も育てていきたい。地球、世代間交流により自らの人生を考えたり自分たちでできることを考え自ら行動できる力をつけることが期待できる。地域にも学校にもメリットが大きい。○地域や世代間の交流は有意義である。○地域貢献になっている。</p>
<p>その他</p>	<p>○昨年度は実施できなかったクラスマッチを行ってよかったです。クラスで喜び合ったり残念がったりする姿がほほえましかった。○教育課程表で全学科総合的探究の時間を入れても良いのではないかと考える。学校行事の精選をお願いしたい。○7つの学びの内論語教育や希望手帳の活用はあまりできていないと感じる。他校の論語教育などHPで参考にしてもっと工夫するべきだと思う。生徒・教員の心や記憶に残るように計画を立ててほしい。</p>
<p>本校におけるICT教育について</p>	<p>○進められていない。○活用しきれない面がまだまだ多いと感じる。○ロイロノートの復活を検討して欲しい。○その都度検証しながら取り組みたい。○WiFiがスムーズに動くようになりタブレットを授業に活用しやすくなりました。○商業教科、情報教科、課題研究等でパソコン室の利用に制限をかけなくてはならず授業に関しては1時間座学、1時間パソコン室で実習と工夫した。教科によってはタブレットにて入力練習も行っている。利用の仕方や代替の工夫をする必要がある。○今はノートの活用が中心になっているのでタブレットも積極的に取り入れバランス良く授業を行いたい。○時代に合わせた取り組み。生徒のタブレットの様子を見てみるとより進化するべきところではと思う。○進んでいる方ではないかと思う。生徒の他ペレットの使いこなし方も素晴らしく良いと思う。○ロイロノートの方が使いやすかった。○自分の知識が追い付かない。小中に見学に行きたい。○新学期の早い時期にSNSの危険性についての講話、さらに継続的な指導が必要だと思う。スマホ、タブレット大変便利な機械だが一歩誤ると加害者、被害者になってしまう。生徒指導部長が啓発のために配られている資料も活用しながら情報通信社会の影の部分を知らしめ生徒にもっと危機感を持たせる必要があると思う。○外部に研修に行くときWiFiがない場合があり、ポケットWiFiがあると良いと思った。○自分自身がまだまだ活用できておらず、ペーパーレス、時間の有効活用等、技術を習得する必要がある。と同時に個人情報、情報の取り扱いには継続して指導していく必要があると考える。○教科によって活用頻度は異なると思うが生徒の記憶には残りやすいと思う。その反面もっと新聞を活用して広く時事問題に目を向けたり法律や統計などにも関心を払えるような教育も必要だと思う。○教員のICT活用力の強化が必要。○ハードの面等中途半端さを感じる。○各教室のモニターを電子黒板化できないかと。</p>

理事役員、教職員全員研修について

○良い機会であったが本音を言える受け止める雰囲気を作りつくる必要があるのではと感じた。○先生方のベクトルをそろえる、意見を出し合うという観点から良かったと思う。○経営検討会議が無くなり、全員研修として開催された。「魅力ある学校」「行きたい学校」目指してどのようにあるべきかを議論しましたが様々な意見はあったものの何をどう実践すればいいのかわからない意見もあった。城北うちにしかできない教育をブランド化すること、職員が城北ここで働けて良かったという待遇が必要であることを実感した。またそこに理事長先生をはじめ理事の先生からもご意見が聞けるということはすばらしいことであった。もっとゆっくりにできる時間があったらいいのでは...。○教職員全員研修では自分の考えを話す時間を頂いたり、全職員の考えを伺ったりと有意義な時間を過ごせたと思う。○参加できず何とも言えないがアンケートを読ませて頂く収穫はあったようなので、和をつくるためにも今後活性化すべき。○新しい試みで良かったと思う。1年に1回くらい全員で校外研修も気分が変わり良いのではないかなと思う。○仲間力がつくような気がします。とてもいい研修でしたので夏冬1回ずつできればありがたいです。○先生方と話す良い機会になり良いと思いますが、益開催だったので時期を見直してもらとうとありがたいです。○本校がどのような教育、学校を目指しているのか全体で研修をしたことで自分自身ここで働くことができ本当に良かったと感じた。更に見学を深め学び成長していきたいと思う。○全職員が顔を合わせる良い交流の場となった。レクレーション等を取り入れた会も良いのではないかなと思います。○たくさんの先生方とお話ができて非常に勉強になりました。アイスブレイクなどの取り組みも実際やってみると難しいところもあり先生方の考えや意見なども共有でき良かったです。様々な意見の中で自分の考えにはないところもあり幅を持てるようになった。○あまり話をしない先生ともゆっくりに話をすることができ良かった。心新たになることができた。○夏休みに行った研修は良かった。

2学期制について

○良いとは思いますが、前期後半と後期後半に午前中授業で午後補習追試になり授業カットが多くなりませんか。○やってみないとわからないが現時点までのスケジュールのゆがみを修正せずにやるのはいかげんかと感じる。○とにかく一度やってみたらいいのかなと思う。すると良い点、改善点が見えてくると思う。○3年生の評価についてやや不安が残ります。○3年生の進路の評価は考慮する必要があると思います。行事の精選もどのように実施するのも大切なことだと思います。秋休みと部活動の大会等の兼ね合いも考慮する必要があります。中学校経験の先生方の意見も聞きたいと思います。○1学期の中間考査は授業の進度を計画しておかないと試験の範囲を確保できないため無理な部分が多い。それを考えると2学期制にした方が試験範囲も確保でき評価もしやすいと思う。○何とか移行期を経て学校の流れを教員のストレスバランスが取れるように貢献できればと思います。まだやってみないとわからないが高校3年生の進路成績の出し方が課題と思われる。○やってみて課題が見えてくるので楽しみである。○本校はやればできると思います。○働き方改革の視点からもやってみて良いと思う。○良いと思う。○定期考査が減ることのメリット、デメリットを十分踏まえる必要がある。テストをするしないが授業者に任されている現行のやり方でのいいか、考査の回数を減らすと試験範囲が広くなり生徒の負担が大きくなるのではないかな前期中間考査を受けなかった3年生の調査書の評価、評定はどうするのかなど。○娘の学校では2学期制(菊池郡市)ですが1学期の終わりがバタバタしてなくて夏休みにしっかり復習して9月にまとめができるので良いなと思った。菊池郡市の生徒も多いのでこの流れで送る方が良いと思う。○行事、試験等の偏りを回避し充実した学校生活となるよう協議計画が必要であり職員全体で協力して臨みたい。○どちらかというと反対。メリットがわからない。○授業確保や教員の負担感や教員との良い面もあると思うが、本校の生徒は勉強が苦手な生徒も多く試験範囲も広くなり成績不振者の増加が心配である。また、進路の仮評定や評価の作り方にまだ改善していく部分もあると考えられる。2学期制から3学期制に戻している学校も多いので慎重に対応して欲しい。○担任の先生方の負担は減少するのではないかなと思います。2学期制にすることで行事の見直しにもつながるのではないかなと感じますので個人的には良いと思う。○授業時間は確保しやすくなるが定期考査の回数減ることにより、範囲が広くなり多くの生徒に負担になる可能性、受験対策も難しくなる可能性、突然の決定で驚きました。○果たして授業時数が確保できるのか。行事が増えたら本末転倒。やってみないとわからない点が多く不安。

チーム担任制について

○責任の取り方や教員の連携、保護者からの信頼など現在の城北教員では心配されることが多くある。○今の担任・副担任とどう違うのかまだどうしたもののかつかめていません。○やってみないとわからない。かつどのようにするのが見えないため何とも言えない。○導入していた学校が次々と取りやめている実態があり導入に関しては複数年慎重に検討すべきである。したがって次年度導入は反対です。○実施してみないとわからないが、挑戦してみたい。○今のところ良い面と難しい面、両面がある。全先生方の考えや意見を聞いてみたい。○具体的にどうやるのかわからない。○先日の視察の報告をお願いしたいと思います。プラス面とマイナス面をしっかりと見つめて実施する必要があるとおもいます。担任の先生の負担を減らすという話をされましたがそれだけで負担は減るのか。教員の不足で人材の確保も必要なのではないか。学年主任の配置やメインとなる担任が必要なのではないでしょうか。○チームを組む先生との指導方針にずれがあった場合うまくいかないストレスの原因になる。チーム担任制にするのであれば確実な情報の共有や指導方針の確認など密にする必要がある。○課題はマッチングだと思います。教員間のバランスを保つことが大前提かと。○反対である。いくら担任(チーム)同士で共通理解していてもそれぞれに個性とニュアンスの違いがあり生徒に混乱をもよおすのではないかな。○うまく機能しないのではないかな。○今、先生たちがいる間にチャレンジして修正して若い人たちが初めての担任で戸惑わず成長して頂いて本校にとどまるようやって頂きたいです。本当に先生が少なくなつてからでは遅すぎる失敗すると思います。やるなら今だと思います。○もっと周知・検討が必要。担任と信頼関係ができていない保護者程抵抗感が強いのでは。教員同士でも違いがあり統一意識が必要と思うので教員の柔軟な考え方がないというところがあると思う。個人的にはOK。○チーム担任制の具体的な姿が見えない。複数の教員がチームを組んで複数のクラスを担当するというもの...。現行制度における担任の負担を軽減するというのが目的であろうと推測するが一方で課題もあるのではないかな。所見記入や、生徒保護者は相談事を誰にもってあげたいのか、学級会計は、生徒との関係が希薄になりはしないか。担任の負担はある意味仕方ないところがあるならば手当の増額で応えたいのには。○メリット、デメリットについて未だ把握、理解できていない部分が多い。生徒・学生に不利益のない計画、対応に努めたい。○検討期間やモデルケースで経過報告を知ることなく実施すると混乱してしまうと思う。職員全体はまだわからない状態での実施については慎重にお願いできれば考える。私は個人的には対話だと考えている。現状として職員間の対話は以前よりも少なくなつたと考える。多忙感が感じられる。そんな中で評価のつけ方にしても2学期制やチーム担任制などあまりにもやるが多すぎて対応が不十分になつてしまふ。教員の多忙感を減らしていこうと考えていることには感謝しています。○やったことがないので不安もあります。成績のつけ方、要録の作成など事務的なものがどうゆう形で行われていくかは心配です。クラスの運営に関しては協力できる部分が多助かるのではないかなと思います。○みんなで生徒に関わるのは良いことと思う。通知表や評価表を記入する情報量の差などが問題になるのでは。生徒一人ひとりにきめ細やかな指導が可能であるが...チーム編成など...慎重に考えなければならぬのではないかな。○チーム編成による不安はある。○教職員の確保ができないと成り立たないと思う。副担任の人数を減らしたくないのではないかな。○定年後も担任を持たなければならぬならやめてほしい。

その他

○精神科の疾患に罹っている生徒については必ず医療機関につないで早急に治療しコントロールできるようになって登校させるようにしなければ教員の負担と心労が増す。普通科の生徒であれば併修制度を積極的に活用し治療に専念できる環境をつくってやるべきだと感じる。○このような反省(アンケート)で出された意見を共有する場(職員会議など)を設けて共通理解することが必要ではないか。○英語の授業にネイティブスピーカーを入れるべき。少なくとも特進コースに非常勤のALTでもいいから入れてほしい。特進生徒の英語のリスニング力、スピーキング力の乏しさに驚かされる。大学入試にも英語力は必須、今どき英語の授業にネイティブの入っていない学校は珍しい。

4 生徒による評価総括表		当てはまる		まあまあ当てはまる		あまり当てはまらない		全く当てはまらない	
		今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
1	学校の教育方針や教育に関する取り組みなどの情報は十分に伝えられている。	24.8%	37.3%	63.3%	53.9%	9.6%	8.3%	2.3%	0.5%
2	学校から配布される文書はわかりやすく丁寧な物になっている。	35.0%	49.0%	58.7%	46.8%	5.3%	3.3%	1.1%	0.1%
3	学校からの連絡は適切な時期・時点に行われている。	24.3%	40.6%	50.2%	47.2%	19.5%	10.6%	6.1%	1.6%
4	先生方は家庭への連絡をきめ細かく取ってくれる。	25.6%	41.2%	54.1%	47.2%	17.2%	9.9%	3.1%	1.7%
5	先生方の対応は親切で誠意があると感じる。	34.5%	46.2%	49.2%	43.6%	13.3%	8.7%	3.2%	1.4%
6	先生方は生徒の悩み事に対して親身になって相談にのってくれる。	37.0%	47.5%	47.3%	42.4%	12.6%	8.5%	3.2%	1.3%
7	城北高校は学校行事が充実している。	22.5%	32.6%	47.5%	44.4%	23.2%	18.5%	6.9%	4.3%
8	城北高校では基本的な生活習慣や規範意識を身につける指導が適切に行われている。	34.6%	45.5%	53.5%	45.8%	9.8%	7.7%	2.2%	0.7%
9	城北高校では命や人権を尊重する指導・学習が適切に行われている。	44.5%	48.8%	46.2%	43.9%	7.8%	6.2%	1.7%	0.8%
10	城北高校では安心して学校生活を送ることができる。	32.2%	51.7%	53.8%	39.6%	11.4%	7.5%	2.7%	1.1%
11	城北高校ではいじめのない学級、学校づくりがなされている。	31.3%	46.9%	52.7%	43.7%	12.5%	8.2%	3.7%	1.1%
12	城北高校では健康と安全について適切な指導が行われている。	43.5%	51.4%	48.6%	42.4%	7.1%	5.3%	0.9%	0.5%
13	城北高校では進路について情報提供が適切になされている。	39.6%	55.0%	49.3%	40.1%	9.2%	4.4%	2.0%	0.6%
14	城北高校は教育に必要な施設や設備が整っている。	31.3%	44.4%	51.3%	43.4%	14.0%	10.7%	3.4%	1.8%
15	城北高校は他の学校にはない特色がある。	33.3%	47.5%	44.1%	38.2%	18.7%	12.0%	4.0%	2.2%
16	城北高校での生活や学習は自分の成長に役立っている。	33.2%	45.2%	53.6%	47.0%	11.3%	6.7%	2.0%	1.2%
17	就寝、起床、食事など規則正しい生活をしている。	40.0%	49.4%	39.1%	34.8%	17.0%	12.6%	4.0%	3.1%
18	学校を欠席、遅刻しないように日頃から心がけている。	65.9%	70.8%	26.3%	22.2%	6.6%	5.9%	1.3%	0.7%
19	先生や友人に毎日あいさつをしている。	59.4%	67.5%	35.3%	28.8%	4.7%	3.0%	0.7%	0.6%
20	希望手帳を有効に活用している。	13.3%	17.7%	29.4%	32.8%	37.5%	36.1%	19.9%	13.9%
21	心の掃除に意欲的に取り組んでいる。	33.2%	43.7%	54.1%	43.6%	10.3%	10.4%	2.5%	2.0%
22	家庭学習(予習・復習・自学)の時間を十分確保し取り組んでいる。	12.6%	18.1%	38.5%	42.3%	39.1%	30.9%	9.9%	8.1%
23	学校の授業内容を理解している。	17.8%	25.3%	57.8%	54.3%	21.1%	16.0%	3.5%	3.4%
24	特別活動(学校行事・生徒会活動・部活動など)に積極的に参加している。	38.2%	43.9%	42.1%	35.7%	16.4%	15.7%	3.4%	3.7%
25	学校の施設、公共物を大切にしている。	67.4%	76.4%	30.8%	21.5%	1.4%	1.9%	0.5%	0.3%
26	自分の将来に夢や希望を持っている。	39.2%	50.6%	39.6%	35.0%	17.2%	12.3%	4.1%	2.2%
27	明るく生き生きと学校生活を送ることができている。	40.6%	49.5%	46.5%	40.6%	10.9%	8.3%	2.2%	1.6%
28	城北高校に入学して良かったと思っている。	29.4%	42.8%	47.2%	38.8%	16.4%	14.1%	7.1%	4.0%

5 保護者による評価総括表

4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

	項目	R5年度 評価 (%)	R4年度 評価 (%)
1	城北高校の保護者は、城北高校の教育方針を理解し、よく協力している。	4(23.8) 3(66.8) 2(9.1) 1(0.4)	4(24.8) 3(65.8) 2(9.4) 1(0.0)
2	城北高校の学校行事は、子どもにとって充実しており学校の特色となっている。	4(34.0) 3(56.4) 2(8.9) 1(0.8)	4(33.0) 3(55.1) 2(11.6) 1(0.3)
3	城北高校の進路指導は、生徒の将来を見据えた適切なものである。	4(32.1) 3(55.1) 2(10.6) 1(2.3)	4(35.7) 3(55.2) 2(8.8) 1(0.3)
4	城北高校の職員は、生徒の進路希望達成に向けて積極的に努力している。	4(37.5) 3(50.2) 2(10.4) 1(1.9)	4(41.4) 3(49.9) 2(7.9) 1(0.8)
5	城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している。	4(34.0) 3(46.2) 2(16.4) 1(3.4)	4(38.6) 3(49.5) 2(11.4) 1(0.5)
6	城北高校は、生活面での規律(挨拶、時間を守る、服装など)の指導に力を入れている。	4(40.2) 3(51.1) 2(7.0) 1(1.7)	4(46.1) 3(47.9) 2(5.5) 1(0.5)
7	城北高校の部活動や生徒会活動などは、活発である。	4(44.3) 3(50.8) 2(4.0) 1(0.9)	4(41.5) 3(50.0) 2(7.7) 1(0.8)
8	城北高校は、健康・安全に関する教育がよく行われている。	4(27.9) 3(58.3) 2(12.1) 1(1.7)	4(34.0) 3(56.9) 2(8.9) 1(0.2)
9	城北高校は、人権教育の推進に力を入れている。	4(21.3) 3(59.8) 2(16.2) 1(2.6)	4(31.0) 3(56.5) 2(12.5) 1(0.0)
10	城北高校は、掃除が行き届いており校内が整理整頓されている。	4(44.5) 3(51.1) 2(4.0) 1(0.4)	4(46.6) 3(48.6) 2(4.5) 1(0.3)
11	城北高校の教育環境(施設・設備)は、学習しやすいように整備されている。	4(32.1) 3(57.0) 2(10.0) 1(0.9)	4(37.9) 3(53.8) 2(8.3) 1(0.0)
12	城北高校は、家庭への情報提供や連絡等をきめ細かにしている。	4(33.0) 3(46.0) 2(18.7) 1(2.3)	4(42.4) 3(46.8) 2(8.7) 1(2.1)
13	城北高校は、保護者および地域社会に信頼されている。	4(26.2) 3(62.5) 2(10.4) 1(0.9)	4(40.4) 3(50.5) 2(8.3) 1(0.8)
14	私は、城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている。	4(52.8) 3(37.0) 2(7.5) 1(2.6)	4(54.7) 3(38.0) 2(6.3) 1(1.0)

6 学校関係者評価

本校評議員、PTA役員による学校関係者評価

4:そう思う 3:まあまあそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない

1 学校経営全般について	
項目	評価
(1)学校の教育目標や本年度の教育重点目標は、建学の精神に則り、生徒の実態や保護者、及び地域住民の要望等を踏まえた適切な設定になっている。	3.7
(2)学校の教育活動について保護者や地域、中学校に、わかりやすく伝えている。	3.2
(3)学校は、教職員一人ひとりの指導力等の向上に努め、生徒の可能性を引き出し、生徒、保護者を満足させている。	3.2
(4)学校は、各学科コースの特色を生かした教育内容と、その教育指導実践を行なっている。	3.5
2 自己評価について	
(1)アンケートの項目や調査内容及び方法は、学校経営の改善へ向け、適切である。	3.5
(2)アンケート等の分析をもとにして、学校経営の成果や課題が明らかになっている。	3.2
(3)学校経営の今後の課題に対し、対策が具体的・計画的に示されている。	3.0
<p>『自己評価』についての評価項目、成果と課題等におけるご意見</p> <p>○共有部分の机などの老朽化が進んでいるということが気になった。小さなことだが、こういった部分は意外と人格形成や行動などに影響を与える。予算との相談となるであろうが可能な部分から改善して行ってほしい。○校則の内容は知らないが、ある程度の服装の自由や化粧の程度などについて、改定を生徒に検討させてみてはどうか。何でも自由にさせるということはまだ綱紀の乱れにつながると思うが、学校側も寄り添う姿勢を見せることになるし、自分たちで決めたことだから守るようにと強く指導もできる。○項目ごとに良い成果が出ていると思います。特に今年度は学校行事が行われ生徒のすばらしい成長と活動が見られ、先生方も満足のある1年であったように感じた。○課題も多く出されているが、課題に対しての対策が示されていないので今後検討をお願いします。○適切な評価項目であり、文章記述の回答に注目すべき内容が見られる。○授業の充実を大きな課題としていることは、教師として当然のことであるが更なる改善の意見提言がたくさん欲しい。○同窓会の組織強化は今こそ時期にあると思う。そのためには事業を行うことです。同窓会の手による学校活性化の取り組みが城北高校の飛躍にもつながると思う。有意の人材が育ってきている今である。○成果と課題を明確にすることによりより良い評価がされますので、城北の原動力になるよう期待します。</p>	
3 生徒による評価について 『生徒による評価総括表』について、評価項目は適切である。	3.5

「生徒による評価」についての御意見

○説明も受けたように「当てはまる」の%が昨年度に比べると軒並み減っているが、この数字が本気のものであれば、減った後の数字でも優秀だと考える。年度ごとに学年やクラスごとのカラーのようなものもあるので、数年間の推移をみる必要があるのではないと思う。○「28. 城北高校に入学してよかったと思っている」では23.5%が当てはまらないと答えてつても「27. 明るくいいきと学校生活を送ることができている」が13%に当てはまらないと少なくなっています。全生徒が楽しい学校生活を送れるように対策をお願いします。○「20. 希望手帳」「22. 家庭学習」が気になりました。検討をお願いします。○卒業した生徒からは先生方がしっかり関わってくれるのでとても良かったと聞きます。○ほとんどの項目で「当てはまる」が過去6年間で最低になっている。何が原因でしょうか。○生徒の評価は、それぞれの居心地や有用感、自己肯定感、自己実現の意欲などによって評価の基準ができていのではないかと考える。○概ね良好の評価ではあるが、厳しい評価もある。注視しながら教育活動を続けていくべき。たくさんの高評価は、受験者数、入学者数に現れている。自信を持って指導にあたって頂きたい。○改善・改革のヒントもあるように思う。面倒見の良さを更に追求したらいかがか。○中身のあるカリキュラムに期待します。

4 保護者における評価について

『保護者による評価総括表』について、評価項目は適切である。

3.5

「保護者における評価」についての御意見

○こちら「そう思う」の%が少し減少しているが、回答率が上がっているのであればそれも一つの成果だと思う。○「自由意見」については両極端の気持ちの方が書いていると思うし、一部は生徒が書いているかもしれない。全部を記載してあるわけではないだろうが、3年生の保護者の意見が否定的なものが多くみられると感じた。学校生活の中で気持ちがマイナスに傾くのであれば改善が必要。○改善は簡単にできるとは思わないし、各先生方の指導方針もあると思うが、将来の学校のために職員全体で共通認識を醸成した上で、個別の対応を開始してほしい。○建設的な意見も多くありますが個人に対する意見もあり当事者は傷つかれたのではないかと思います。個人に対しての意見は直接校長までとかアンケートをとる時点お願いする方が良かったのではないかと思います。○寮生には毎月決めた日にクラス便りや日程表を発信したり郵送するなど各要望に対して検討して対策をお願いします。○各項目で「1. 全くそう思わない」が増えている。原因究明する必要があるのでは。○保護者の評価は生徒の評価を反映している。日々の子どもの様子を見、会話の中から子どもの満足度と保護者の期待値が一致しているのにかに鍵がある。いい結果を得ていると思う。○口コミの評価もある。保護者を通じて城北高校の生徒募集がされていると考える。○厳しい意見もあると思いますが保護者の皆様も城北高校のことを思って述べられていると思います。城北の良さをアピールできることを期待します。

5 その他、全体的な御意見

○直接、今回の評価と関係ないが、(評議員会で説明を受けた)工事の見積もりについては市外業者のみであり、対応できる業者が山鹿市内に無い可能性もあるが、少し高額になったとしても地元業者を使うと山鹿市や中小企業界隈での学校の評価は確実に上がる。(前提の本体工事を施工したとか各種事情があるのはわかっていますので、批判ではなく意見です。小さな工事で可能なものから行って頂ければと思います。○学校行事も行われ城北高校がますます充実した高校になっていると嬉しく思いました。先生方の御指導のもと生徒さん方の頑張りでいろいろと素晴らしい成果が出て良かったと思います。おめでとうございます。成果が出て新聞等で報道されないと地域の方々は何もわかりません。来年は是非いろいろなことを発信して下さい。○学校が大きく充実・発展している。学校の総力を挙げて教育活動の充実に取り組んでいる成果です。生徒・保護者の満足度を高める実践があると思います。面倒見の更なる高まり、「期待値を超える」学校となるようお互い頑張りましょう。○生徒を、教職員を、学校を、地域を愛し、いくらかでも支えになる一人でありたいと思います。○本当に少子化の中での生徒募集にあっては大変だと思いますが、これだけの生徒が集まってくるのは魅力ある学校に先生方が尽力されているおかげです。本当に感謝しております。

7. 総合評価

本校の建学の精神である『人間をつくる』を教育の柱とし、今年度は新理事長、新校長の元スタートした1年であった。教育重点目標を「豊かな人間性で日本一の高校に」と掲げ、これまでの心の教育を中心に、特に「集める」「育てる」「送り出す」を具体的な教育実践とし、生徒、保護者を満足させる教育活動、内容、行事等の検討、生徒募集、進路活動に力を入れ活動してきた。

また今年度は、大きな行事である体育大会、学園祭、J ミッション教育活動等、昨年までの制限を行うことなく実施することができたことは大変有意義であった。様々な教育活動において教育の成果を生徒の成果、結果として得られたことは大変すばらしいものであった。

医療福祉科では、熊本県及び九州地区高校介護技術コンテストにおいて最優秀賞を受賞し、昨年初めて全国大会へと出場し、全国大会の大舞台においても堂々とした発表で、第2位の優秀賞を獲得する快挙を成し遂げたが、今年は昨年以上の成績を目指し、日本一を目標に日々努力を重ね、結果、悲願の日本一最優秀賞を獲得したことは快挙であり、生徒達の大きな自信となり得たものであった。

部活動においても、創部3年のチアダンス部が、Pom部門 高校生 small 編成の部で、昨年に引き続き、日本一となり、2連覇を果たした。また、二人組編成では世界大会に出場し、アメリカチームとの接戦に勝ち、世界一となった。男子バレーボール部では、3年生の生徒がU19の日本代表に選出され、アルゼンチンで行われた世界選手権において活躍した。

このように本校生徒の全国大会、世界における活躍は、学校としても初めてのことであるが、特色のある各学科コースで学ぶ生徒達や全国を目指し頑張っている部活動生にとって、大きな励みとなった。このように生徒達の頑張りや努力の成果が結果として出るとは学校全体へと元気を与え、生徒自身の自信となり更なる教育活動への意識づけとなるものであった。

このように生徒の頑張りや活躍も多くあったが、学校全体の教育活動やについては、学校評価にもあるように様々な反省や課題も出されている。今年度の様々な成果や課題を令和6年度へと生かし、改善を図りながら自己評価、生徒・保護者評価の結果を、教職員一同、謙虚に受け止め、今後の本校の教育活動に生かし、更なる魅力ある学校を構築していきたいと考える。

学校関係者評価委員会(5月、3月実施) 報告

【1】第1回学校関係者評価委員会

日時 令和5年5月25日(木)13:00~14:15

場所 役員室

出席者 本校評議員(15名)

議事

- ① 学校の現況について
- ② 昨年度(令和4年度)の学校評価の総括について
- ③ 今年度(2023(令和5)年度)の教育重点目標について
- ④ 意見交換

令和4年度の学校評価(自己評価、生徒評価、保護者評価、学校関係者評価等)を基に総括を行った。昨年度の反省や学校の現況をもとに、今年度の教育活動等確認し、令和5年度の教育重点目標を確認した。今年度は、理事長、校長が変わり新しい体制におけるスタートとなり、新しく更なるバージョンアップした城北高として、教育活動の展開についても確認した。学校関係者評価委員会では、学校の現況報告に対して、以下の報告や意見がなされた。

- (1)新体制としての学校に期待している。
- (2)保護者からの厳しい意見もあるがほとんどが感謝の言葉で生徒数も増えてきている。保護者の期待からのことばであると捉え改善していく教育を。
- (3)新校長の教育目標設定に期待したい。地域、中学校からの信頼を得てきていると思う。
- (4)生徒の活躍が生徒募集にもつながっている。様々な活動が地域からの評価に繋がってきている。
- (5)学校の地域からの信頼が素晴らしいと思うが、さらに職員一丸となって頑張ってもらいたい。
- (6)介護福祉士、看護師国家試験ダブル100%合格など生徒の頑張りがすばらしい。

【2】第2回学校関係者評価委員会

日時 令和6年3月26日(火)9:00~11:30

場所 会議室

出席者 本校評議員(15名)

議事

- ① 学校の現況について
- ② 令和5年度の学校評価について
自己評価・生徒評価・保護者評価等総括について
- ③ 次年度(令和6年度)へ向けて
- ④ 意見交換

学校評価をもとに総括を行った。それぞれの評価において全職員で共有し、改善できるところはすぐに改善していく事、また、行事等について計画的に行い効率化を図ることを確認した。学校関係者評価委員会では、以下の意見が出された。

- (1)全体的に評価が低くなったようである。厳しい意見もあるが、そのような意見に目を向ける必要

がある。様々な学科があり、生徒、保護者も個性があるため関わり方が大切である。

- (2) 生徒アンケートや保護者アンケートの意見の中に厳しい意見がある。課題とし改善していく事が大切である。
- (3) 課題である項目を各学科で共有し、学習に対する取り組み、学習環境に取り組むことが必要である。
- (4) 先生方は頑張っておられると思う。その成果が生徒の入学者数に繋がっている。
- (5) 生徒の活躍がとてすばらしいものであった。介護技術コンテスト日本一、チアダンス部の世界一、二年連続日本一、男子バレーボール部からの日本代表選出、その他生徒の活躍の場面が多かった。